



ごみを減らすためには①

くもつたいないものを減らしましょう。まずは、ライフスタイルの見直しから！

☆今のライフスタイルは？

皆さんの身の回りは、使わないものや不用となったものがたくさんありませんか？

例えば、現在は安くて便利なものが100円ショップなどで簡単に手に入ります。これらの大量に生産されたものを大量に消費しながら、私たちは快適な生活を送っているのです(快適と思っただけなのかも知れません)。そして、不用になったものが次々と捨てられています。その結果、廃棄物の収集や処理、最終処分するために大量のエネルギーを使用し、地球温暖化の要因の一つとなっています。

☆江戸はエコライフ！

昔の生活はどうだったのでしょうか？時代をさかのぼってみると、

昔の江戸(現在の東京)は、当時人口100万人を超える世界最大の都市でありながら、世界的にごみが少ない美しい町だったそうです。では、江戸はなぜ美しい町だったのでしょうか？それは、物は修理しながら大切に使用されており、ごみはきちんと分類され、生ごみは肥料・飼料として農家に、紙くず・木くずは燃料としてふる屋へと有効に活用され、すでに循環型社会が構築されていきました。江戸は、物を大切に最後まで使い切っていたエコライフの社会でした。

☆これからは『MOTTAINAI』でエコライフ！

これまで私たちは、大量生産、大量消費、大量廃棄といった「一方通行型」の生活を送ってきました。これは、限りある天然資源の無駄遣いであり、「もつたいない」としか言いようがないと思いませんか？さらに、一方通行型の生活はCO2を大量に排出し、地球環境にも優しくないことは言うまでもありません。

もありません。これからは、物を大切に有効に活用し、なるべく廃棄することなく「循環型」の地球に優しい生活に変えていく必要があります。ではないでしょうか？

この「循環型」の生活を送るためには、『MOTTAINAI』(もつたいない)がキーワードになります。この言葉は、ケニア出身の環境保護活動家でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが提唱したもので、環境保護の世界共通語ともなっている言葉です。この『MOTTAINAI』には、①Reduce(ごみ削減)②Reuse(再利用)③Recycle(再資源)の3Rと、自然や物に対する敬意が含まれていることから、この言葉が使われています。そして、昔の日本には江戸の生活から分かるように、この『MOTTAINAI』の精神が息づいていたのです。私たちも、まず『MOTTAINAI』と思う気持ち、物を大事にすることから始めませんか？

市では、「もつたいない運動宣言」の普及に努めています。この宣言には自ら進んで実行する内容として、マイバック持参、計画的な買い物、ごみを減らすための資源物の分別などが含まれています。市民の皆さんも積極的にこの運動に参加をして、ごみの減量につなげていただきたいと思います。なお、牛久市「もつたいない運動宣言」は市環境政策課ホームページをご覧ください。市環境政策課窓口にお尋ねください。次回はごみを減らすためには②「生ごみを減らそう！」です。

お知らせ

資源物で回収している木くず類は、燃料や建築用合板、あるいは製紙原料などとしてリサイクル(チップ化)されます。花や果実、葉だけのもの、小さく刈り込んだ枝先などはリサイクルできないので、燃えるごみの日に市指定袋に入れて出してください。葉の付いた枝はできるだけ落としていただけると、集積所をきれいにすることができしますので、ご協力をお願いします。